

1974 (毎月1回行)

11月号

(村の面積)

332,60 km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和49年10月1日現在)

村の人口	
総人口	2,126人
男	1,111人
女	1,015人
出生	4人
死亡	1人
転入	1人
転出	3人
世帯数	589世帯

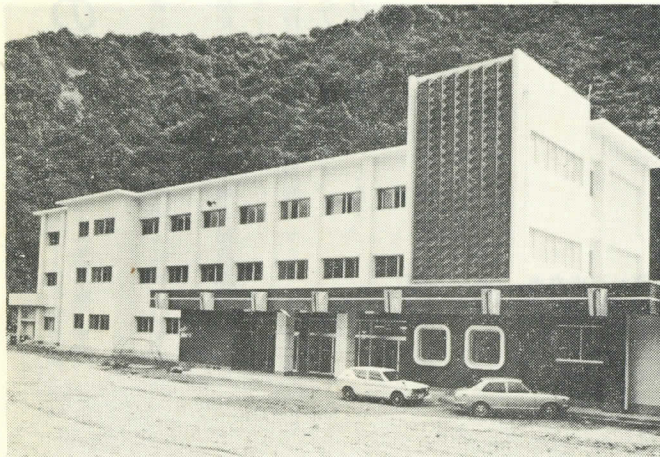
近代的な校舎が完成

十月二十三日落成式を挙る

立派な大納小学校

老朽化のはげしかった大納小学校は、近代的な鉄筋コンクリート三階建のスマートな校舎に姿を変え、その落成式が、去る十月二十三日福井県知事(代理)を始め、県議会議員、村内外からの関係者など多数参加のもとに盛大に行われました。

式は、午前十時から同校講堂で始まり、村長の式辞、工事経過報告があり、続いて山本竜馬校長の



お礼のことばや、工事の完成に努力された方々へ感謝状の贈呈がありました。最後にこの記念すべき日を祝って同校児童による音楽演奏の披露があり、式を終わりました。同校は、昨年六月総工費一億一千五百万円で着工され、鉄筋コンクリート三階建延面積、一、七八八平方メートルで、普通教室をはじめ特別教室、リフト付給食室(三階までエレベーター)や集中暖房等の設備、又、日本亜鉛鋳業KKからの寄附もあって、他の学校にみられない近代的な放送設備も充実しています。

なお、工事期間中は、石油ショックや物価の高騰、又、思いがけない降雪にまわられるなど、関係者を心配させましたが、昨年十二月新校舎の完成を見るに至り、引き続き、今年八月には、屋外運動場も整備拡張されてここに落成式を迎えられます。

菊おかる文化のよき日、十一月三日、朝日小学校の創立百年祭が約三百人の関係者出席のもと盛大に式典、除幕式、音楽会、展覧会祝賀会等終日楽しみと喜びに包まれてめでたく行われました。

創立百年を祝う

記念碑も除幕



記念碑は、縦七十五センチ、横百三十六センチ、厚さ十八センチの黒みかげ石に、「振気勉学」の四字がきざまれています。

この碑文は、橋本左内の啓発録からとり、奥野文部大臣の筆に成るものであります。

音楽会には、児童、幼児の第一部のあと、福井市消防音楽隊のドリル演奏、小学校鼓笛隊との合同演奏など会場一ぱいにひびきわたる全員を魅了しました。展覧会には、明治、大正、昭和の三代にわたる卒業証書、教科書

スポーツの祭典

優勝は緑チームへ

第18回村民体育大会

去る十月十三日(日)村民グラウンドにおいて待望の第18回和泉村民体育大会は、二年ぶりに、にぎしく開催されました。

当日は曇天でありましたが雨の心配もなく村民多数の参加のもと小学生の五〇M競争から競技が開始されました。プログラムが進むにつれ、競技に、応援に、熱気がこもり、又、昼食時には仮装行列が行われ、各チームの趣向をこらした出し物に、笑いと拍手がグラウンド一杯に広がりました。総合リレーを最後に全競技が無事終了し大会長より優勝旗が緑チーム宮原団長に手渡されました。

- 一位 緑(朝日) 一一八、五〇点
- 二位 赤(中竜) 一一四、〇〇点
- 三位 橙(川合/前坂) 一一三、〇〇点
- 四位 青(上・下大納) 八五、五〇点
- 五位 白(下山・角野・板倉) 八一、〇〇点

などの教育百年のあゆみ展、教育機器によるこれらの教育展、また村内生花グループの見事な生花などが絶賛を受けました。

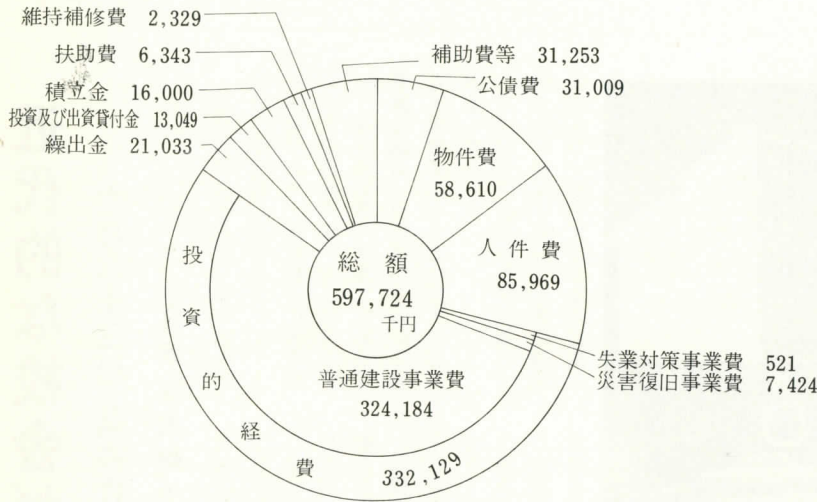
午後の祝賀会には、会場一ぱい輪になって穴馬おどりが立ち、又子ども昇竜太鼓、婦人会のおどりなどのアトラクションがくりひろげられ、参加者一同百周年のお祝いを心ゆくまで楽しみました。

昭和48年度一般会計決算状況

歳入決算額 609,015,742円 歳出決算額 597,723,828円

歳入歳出差引残高 11,291,914円

性質別歳出決算



財政白書

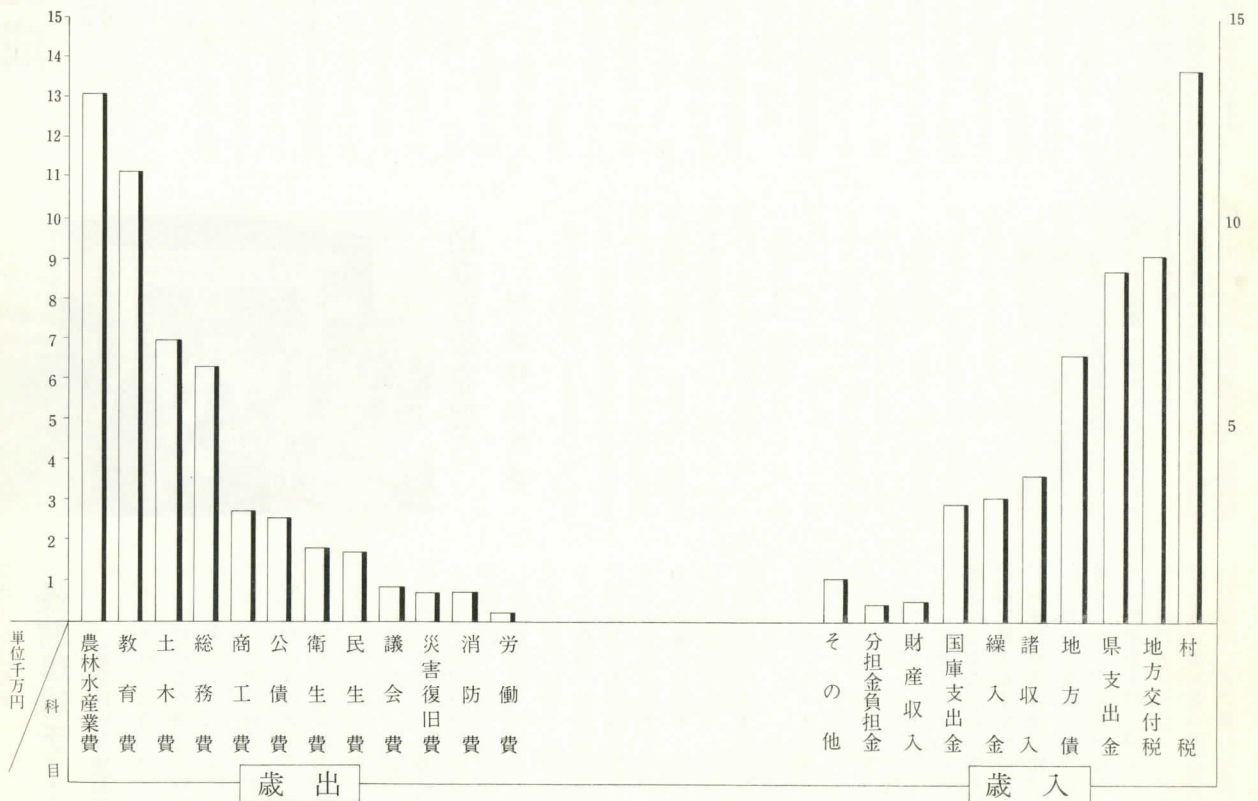
財政事情の公表

昭和四十八年度決算
昭和四十九年度予算(上半期)

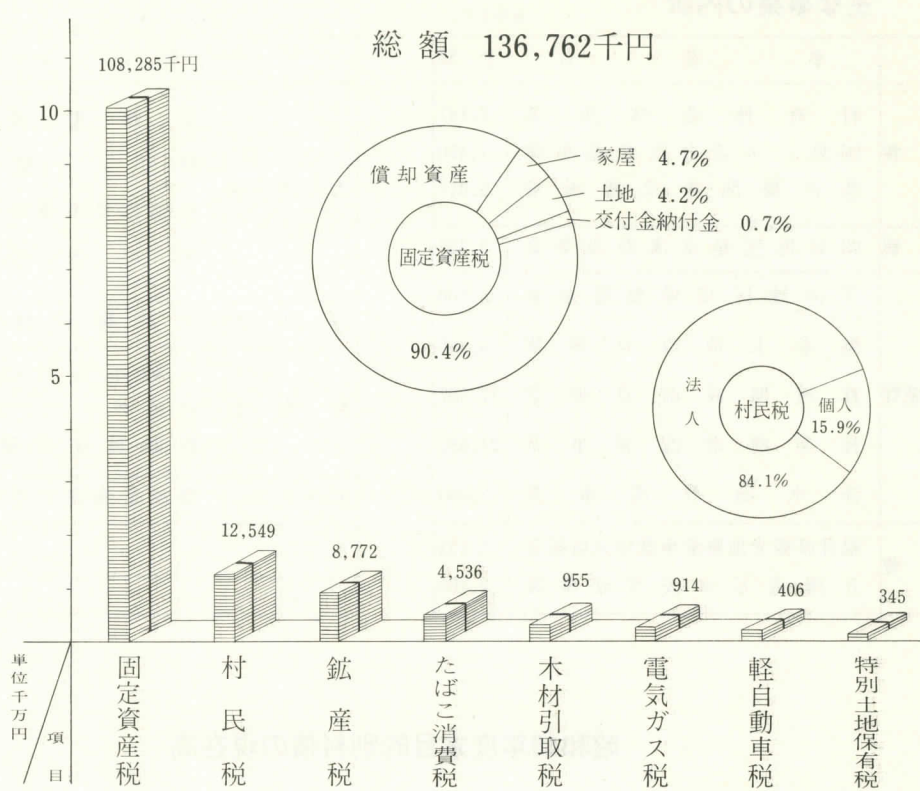
和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより村の財政事情を公表します。
今回は昭和四十八年度決算と昭和四十九年度上半期の財政運営状況について、そのあらましを説明します。
この財政事情は村民の皆さんに村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを充分ご認識いただくものであります。
今後とも村勢発展のため一層のご協力をお願いします。

昭和四十九年十一月一日

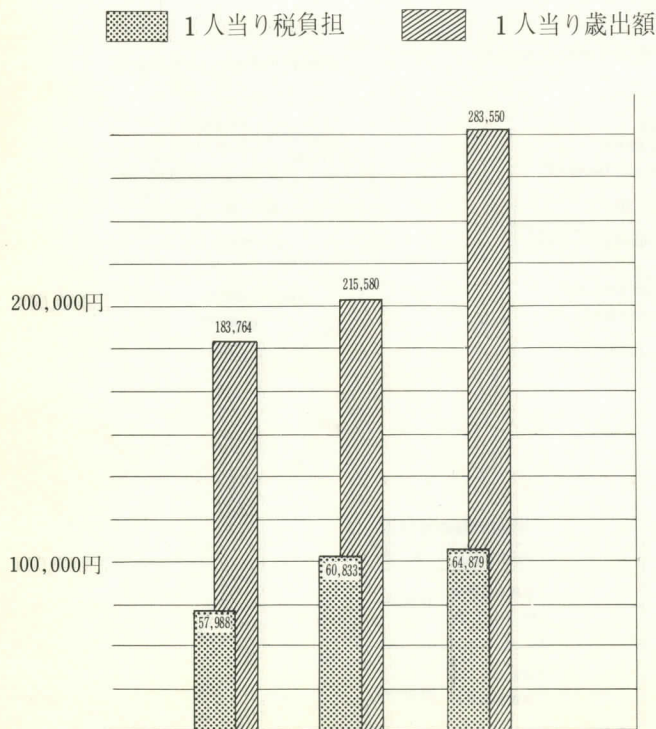
和泉村長 山本清孝



村税の収入状況



村民1人当り税負担額と歳出額の年度別比較



1世帯当り (587世帯)	村税負担額	1人当り (2,108人)
21,378 ^円	村民税	5,953 ^円
187,995	固定資産税	51,369
692	軽自動車税	193
7,727	たばこ消費税	2,152
1,557	電気ガス税	434
14,944	鉱産税	4,161
1,627	木材引取税	453
588	特別土地保有税	164
236,508	合計	64,879

主な事業の内訳

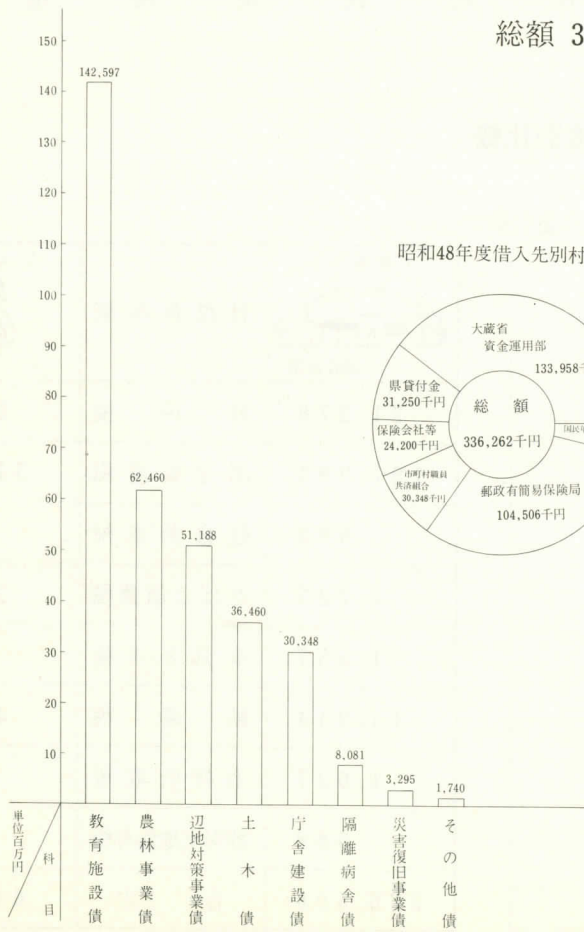
(単位千円)

款	事業名	金額
総務費	村有林造林事業	2,481
	国鉄バス待合室新築事業	1,450
	蒸汽機関車設置事業	5,011
衛生費	朝日地区排水溝新設事業	3,395
農林水産業費	下山地区雨場整備事業	5,100
	県単土地改良事業	3,985
	林道開設改良事業	77,287
	林業構造改善事業	21,693
	淡水漁放流事業	2,360
商工費	福井県観光地整備事業地元負担金	3,333
	九頭竜万本桜育成事業	2,400

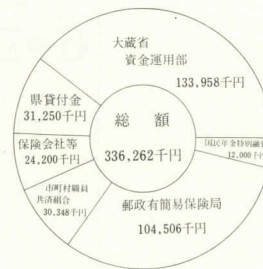
款	事業名	金額
土木費	道路整備事業	37,391
	橋りょう整備事業	6,000
	県道改良事業地元負担金	8,991
	河川改修事業	5,452
消防費	消防施設整備事業	1,497
教育費	大納小学校改築事業	119,890
	村民グラウンド建設事業	10,175
	教職員住宅購入事業	4,100
災害復旧	農林業施設災害復旧事業	7,424
計		329,415

昭和48年度末目的別村債の現在高

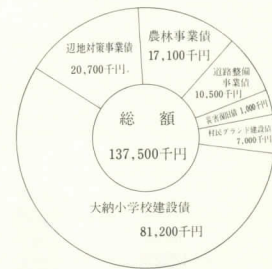
総額 336,262千円



昭和48年度借入先別村債現在高



昭和48年度村債の借入状況



特別会計の昭和47年度未現債高

特別会計名	金額
簡易水道事業特別会計	13,204千円
村営スキー場事業特別会計	80,000千円

公給領収証を必ず
受けとりましょう
運動
(11月15日~12月31日)

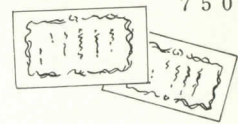
建物延べ 17,699.33㎡
宅地 9,632.84㎡



山林 1,100.67ha
その他 2.19ha



有価証券

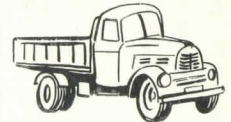


750千円

公有財産の状況

昭和49年3月31日現在

自動車 5台
ブルトーザ 2台
ダンプトラック 1台
バイロータ 1台



れんさいNo80
おかし
山みろ



基金
財政調整基金 36,255,408円
土地基金 6,000,000円
国民年金印紙購入基金 200,000円
災害救助資金 240,265円



出資金 3,758千円



昭和48年度
特別会計決算
の状況

簡易水道事業
歳入 8,172,057円
歳出 7,902,126円
給水世帯 216世帯
給水人口 1,040人



農業共済事業
歳入 2,870,061円
歳出 2,326,122円
引受戸数 97戸
引受面積 2,595 a
引受収量 57t



国民健康保険事業
歳入 17,232,421円
歳出 16,393,724円
被保険者数 545人
1人当り保険税 5,050円
1人当り療養費 18,770円



診療所事業
歳入 11,983,538円
歳出 10,925,003円
病床 一般 6床
伝染病 12床
診療件数一般 2,896件
歯科 82件

村営スキー場事業
歳入 53,277,008円
歳出 53,265,319円
リフト 2基
利用者数 28,107人



昭和49年度一般会計予算状況 (9月現在)

区 分	〈歳入〉 (単位千円)				
	当初予算	補正額	現計予算	収入済額	収入率
村 税	221,274	6,800	228,074	105,581	46.3
地方譲与税	1,400		1,400	524	37.4
自動車取得税交付金	3,600		3,600	1,395	38.8
地方交付税	88,800		88,800	65,168	73.4
交通安全対策特別交付金	170		170		0
分担金及び負担金	4,879		4,879	1,706	35.0
使用料及び手数料	914	110	1,024	538	52.5
国庫支出金	50,771	8,034	58,805	2,073	3.5
県支出金	68,633	△4,010	64,623	664	1.0
財産収入	1,531	3,917	5,448	5,475	100.5
寄付金	73,146	2,600	75,746	72,600	95.9
繰入金	20,000		20,000	13,000	65.0
繰越金	6,000	5,292	11,292	11,292	100.0
諸収入	15,492		15,492	3,290	21.2
村 債	95,300	3,800	99,100		0
計	651,910	26,543	678,453	283,306	41.8

区 分	〈歳出〉				
	当初予算	補正額	現計予算	支出済額	支出率
議会費	9,894	400	10,294	5,677	55.2
総務費	83,510	5,176	88,686	38,007	42.9
民生費	50,522	1,566	52,088	18,804	36.1
衛生費	14,861	2,193	17,054	12,726	74.6
労働費	36	408	444	7	1.6
農林水産業費	89,759	△3,348	86,411	10,900	12.6
商工費	34,671	△1,600	33,071	15,218	46.0
土木費	64,892	11,754	76,646	5,739	7.5
消防費	12,318		12,318	9,040	73.4
教育費	224,518	8,786	233,304	57,091	24.5
災害復旧費	11,789	1,189	12,978	218	1.7
公債費	47,503		47,503	16,301	34.3
予備費	7,637	19	7,656		0
計	651,910	26,543	678,453	189,728	28.0

まだく元気!

若いもんには負けられん

第一回高志地区老人スポーツ大会和泉村で開かれる

老人がスポーツを通じて、自らの健康の保持とあわせて、幸せな日常生活の積極的推進と、老後における生きがいを目的とした、第一回高志地区老人スポーツ大会が去る十月四日、朝日中学校屋内運動場で開かれました。

会終了後は、九頭竜観光園のご厚意により鐘乳洞「白馬洞」を見学したり、紅葉に包まれた九頭竜ダムを満喫しつつ、お互いの健康と幸せを喜び合いました。写真、玉入れ競走の一コマ

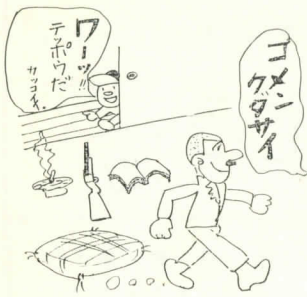
「暖たかい冬」を過して下さい

恵まれない人々に!!
日石九頭竜給油所から

「恵まれない家庭に暖たかい冬を」と、このほど、日石石油九頭竜給油所から、白灯油三六〇リットルが届けられました。村では、村内の生活保護世帯を始め、働きたくても働くことのできない重症障害者や母子家庭など十世帯に配分されました。

獵銃に細心の注意を!

十一月一日から狩猟が解禁。待望の狩猟シーズンがやってきました。獲物を追いかけて、野に山に銃声が「こだま」することでしょう。狩猟のルールを守り、特に獵銃の扱いについては細心の注意をはらいましょう。



タオル、石けん などゾクゾク

善意運動により千余点を供出

人々の心に埋れている善意を開発し、自主的な奉仕活動を促進しようとして、十月一日から民生委員協議会が中心となって、施設における「ねたきり老人」や「重症心身障害患者」に対する看護用品の供出運動を展開し、多くの住民の皆



さんから、タオル、石けんなどを始め、木村商工婦人部からの「古着」の供出をいただき、去る三十日に高志福祉事務所へ回送いたしました。

「何とかしてあげたい」……「しかし一人の力ではどうしてあげることもできない」といった不幸な方々に、県を通じて、重症患者のいる各施設に、皆さんの善意が届けられていきます。

供出物件の明細

- 一、石けん 六一四
- 二、洗 剤 六
- 三、タ オ ル 二七三
- 四、バスタオル 八
- 五、古 着 二二一
- 六、そ の 他 一六

人のうごき

【赤ちゃん誕生】
上大納 辻 和孝 偉射蒸 長男

朝日 福永健一 和夫 長男
朝日 山本一人 一郎 長男
後野 長嶋昌治 邦治 二男
【死 亡】
下山 齊藤光二 七二才

合同慰霊祭を挙げる

本年度の戦没者及び殉職者の合同慰霊祭は、十月十四日午前九時から、朝日小学校において仏式により厳修されました。

香煙ゆらぐ中を、しめやかな読経につれて、県知事代理をはじめ遺族の方々が、在りし日を偲びながら、泉下の霊に冥福を祈られました。

優勝!!

バスケットは朝日第二分団B
サッカーは中竜第二分団A

スポーツ少年団球技大会

十月二十七日(日)朝日中学校体育館、屋内運動場において、和泉村スポーツ少年団主催のサッカー、バスケットボール大会を行ない熱戦の結果、次のとおり順位が決まりました。

- 【バスケットボールの部】
- 優勝 朝日第二分団 Bチーム
 - 二位 朝日第二分団 Aチーム
 - 三位 中竜第二分団 Aチーム

- 【サッカーの部】
- 優勝 中竜第二分団 Aチーム
 - 二位 朝日第二分団 Aチーム
 - 三位 中竜第二分団 Bチーム

教育相談 シリーズ(5)

※マンガの指導※

子どもが、どんなマンガをよんで見ているのか、これを実際に理解してやることから出発すべきです。親も子どもから借りて、一緒に読んで、マンガをたのしむことから始めましょう。

マンガを禁止しないで、いいマンガを選んで読むようにしむけていくことが大切です。親にかくられて、こっそり読むような、卑屈な読みかたをさせず、堂々と読めるようにしてやりましょう。

次に、テレビの指導も同じことで、生活全体の指導のなかで考えてやるのが大切です。

マンガもテレビも見ていいが、自分でやらなければならぬこと一宿題、お使い、読書、家のしごとなどをきちんとやっていくという、生活の態度や習慣づけが前提になるのです。

子どもが学校で勉強して帰宅してほっとする。その時、オヤツでもたべて、マンガを見て解放されたいのです。これは当然とめてやっています。これは当然とめてやっています。これは当然とめてやっています。

マンガやテレビも見られるけれどもやらなければならぬ「しごと」もきちんとやるといふ子どもになるようお互いに努力しましょう。